

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	都市計画教育小委員会	主 査 名：根上彰生 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名：西村幸夫 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市設計・計画教育再構築の方向性の検討。 ・まちづくり実践教育の事例収集および情報交換。 ・シャレットワークショップの実践および方法論構築。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：根上彰生(日本大学) 委員：野嶋慎二(福井大) 鷗心治(山口大) 有賀隆(名古屋大) 遠藤新(金沢工大) 小林正美(明治大) 野澤康(工学院大) 野中勝利(筑波大) 堀田祐三子(神戸大) 三宅諭(岩手大) 岡絵里子(大阪大) 加藤浩司(有明高専) 三輪律江(横浜国大) 井上芳恵(尚絅短大)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2006 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有(作成中) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 2 回学生主体によるシャレットワークショップ「逗子のまちづくりデザインを考える」 参加者数 40 名
大会研究集会	1. 研究協議会「期待されるまちづくり連携のプラットフォーム～まちづくり実践教育の成果と展望～」 参加者数 150 名 (資料名)研究協議会資料「期待されるまちづくり連携のプラットフォーム～まちづくり実践教育の成果と展望～」
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会研究協議会を企画し、継続して実施してきたまちづくり実践教育の成果を資料としてまとめるとともに、今後の展望について意見交換を行うことができた。当初の活動計画を概ね達成した。 2. 第 2 回学生主体のシャレットワークショップを大会に合わせて開催し、地域への提案を行うと同時に大会期間中にプレゼンテーションを行い当初の活動計画を達成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 刊行物やホームページによる活動成果の公表 2. シャレットワークショップの継続的な運営体制の検討

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。